

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和07年12月05日

計画の名称	大津市公共下水道事業－湖都大津の良好な水環境の形成（第四期）												
計画の期間	令和08年度～令和12年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	大津市												
計画の目標	琵琶湖の恵みを受け発展してきた「湖都」大津において、琵琶湖の水環境の保全を図り、安全・安心な水環境の創造と良好な下水道サービスの継続性確保のため、下水道施設の構築を推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	148	A	148	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R8当初	R10末	R12末
1	下水道処理人口普及率を98.5%（R8当初）から98.6%（R12末）とする。			
	下水道処理人口普及率（%）	99%	99%	99%
	下水道を利用できる人口 / 行政区域内人口 : 342,941人（R7当初）（普及人口 + 整備による普及人口） / 住基人口			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
下水道処理人口普及率は、当初目標値98.5%、中間目標値98.6%、最終目標値98.6%とする。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R08	R09	R10	R11	R12			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	大津市	直接	大津市	管渠(汚水)	新設	汚水管の整備	汚水管渠整備 L=2.9km	大津市						116	-	
	A07-002	下水道	一般	大津市	直接	大津市	-	-	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し等	大津市						32	-	
											小計						148		
											合計						148		

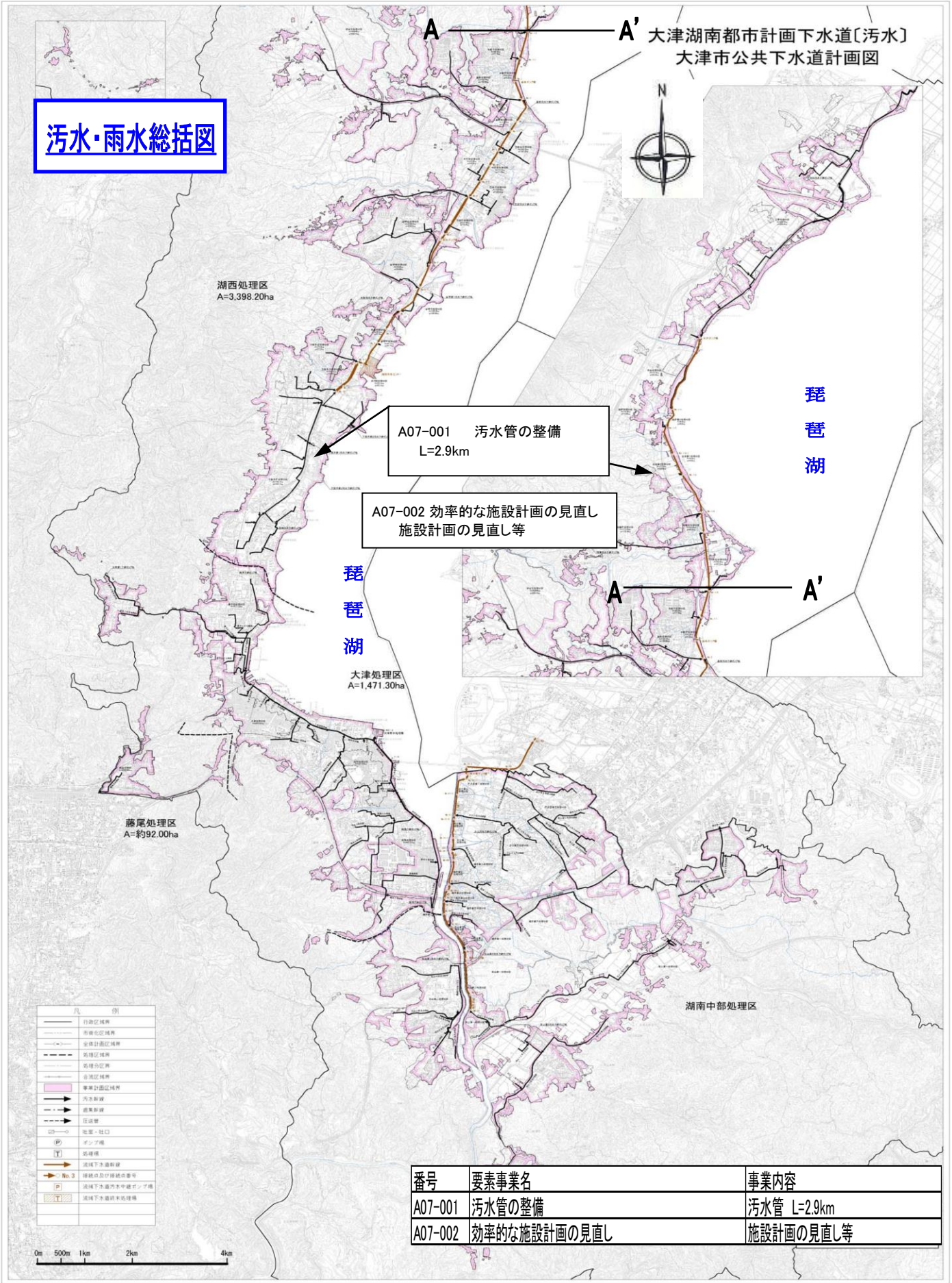
## 事前評価チェックシート

計画の名称： 大津市公共下水道事業－湖都大津の良好な水環境の形成（第四期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針（污水处理施設整備構想、流総計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画（事業認可等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地元情勢の変化を踏まえている。	○
I. 目標の妥当性 社会的経済情勢を捉え、適正な計画となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 費用対効果について十分に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 地元住民の同意や要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○

計画の名称	大津市公共下水道事業－湖都大津の良好な水環境の形成（第四期）		
計画の期間	令和8年度 ～ 令和12年度（5年間）	交付対象	滋賀県 大津市

**汚水・雨水総括図**



番号	要素事業名	事業内容
A07-001	汚水管の整備	汚水管 L=2.9km
A07-002	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し等